

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年2月20日(2014.2.20)

【公開番号】特開2012-144459(P2012-144459A)

【公開日】平成24年8月2日(2012.8.2)

【年通号数】公開・登録公報2012-030

【出願番号】特願2011-2263(P2011-2263)

【国際特許分類】

C 07 C 13/62 (2006.01)

H 01 L 51/50 (2006.01)

C 09 K 11/06 (2006.01)

【F I】

C 07 C 13/62 C S P

H 05 B 33/14 B

H 05 B 33/22 D

H 05 B 33/22 B

C 09 K 11/06 6 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月26日(2013.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

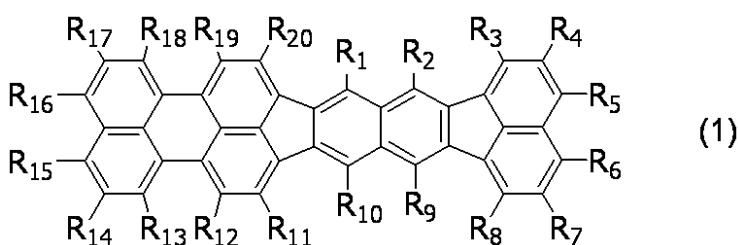
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記一般式(1)に示される構造であることを特徴とする、有機化合物。

【化1】



(式(1)において、R<sub>1</sub>乃至R<sub>20</sub>は、それぞれ水素原子、ハロゲン原子、置換あるいは無置換のアルキル基、置換あるいは無置換のアルコキシ基、置換あるいは無置換のアミノ基、置換あるいは無置換のアリール基、置換あるいは無置換の複素環基及び置換あるいは無置換のアリールオキシ基から選ばれる置換基である。)

【請求項2】

前記R<sub>1</sub>乃至R<sub>20</sub>が、それぞれ水素原子及び置換あるいは無置換のアリール基から選ばれる置換基であることを特徴とする、請求項1に記載の有機化合物。

【請求項3】

R<sub>2</sub>及びR<sub>9</sub>が、置換あるいは無置換のアリール基であり、R<sub>1</sub>、R<sub>3</sub>乃至R<sub>8</sub>及びR<sub>10</sub>乃至R<sub>20</sub>が水素原子であることを特徴とする、請求項1又は2に記載の有機化合物。

【請求項4】

分子構造中にターシャリーブチル基を2つ以上有することを特徴とする、請求項1乃至3のいずれか一項に記載の有機化合物。

**【請求項 5】**

陽極と陰極と、

前記陽極と前記陰極との間に配置される有機化合物層と、を有する有機発光素子であつて、

前記有機化合物層の少なくとも一層に、請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の有機化合物が含まれることを特徴とする、有機発光素子。

**【請求項 6】**

前記有機化合物が、発光層に含まれることを特徴とする、請求項 5 に記載の有機発光素子。

**【請求項 7】**

黄色発光することを特徴とする、請求項 6 に記載の有機発光素子。

**【請求項 8】**

複数の画素を有する表示装置であつて、

前記複数の画素が、請求項 5 乃至 7 のいずれか一項に記載の有機発光素子と、前記有機発光素子に電気接続される T F T 素子と、をそれぞれ有することを特徴とする、表示装置。

**【請求項 9】**

画像情報を入力するための入力部と、画像を出力するための表示部と、を有する画像入力装置であつて、

前記表示部が複数の画素を有し、

前記複数の画素が、請求項 5 乃至 7 のいずれか一項に記載の有機発光素子と、前記有機発光素子に電気接続される T F T 素子と、をそれぞれ有することを特徴とする、画像入力装置。

**【請求項 10】**

請求項 5 乃至 7 のいずれか一項に記載の有機発光素子を有することを特徴とする、照明装置。

**【請求項 11】**

露光光源を有する電子写真方式の画像形成装置であつて、

前記露光光源が、請求項 5 乃至 7 のいずれか一項に記載の有機発光素子を有することを特徴とする、画像形成装置。